

第31回

北前船

寄港地フォーラム in パリ

主催：一般社団法人北前船交流拡大機構



後援：外務省
在フランス日本国大使館

特別協賛：株式会社木下グループ
一般社団法人地域連携研究所

協賛：株式会社日本旅行
株式会社BRICK's

協力：東日本旅客鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
日本航空株式会社
株式会社 ANA 総合研究所

連携：独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)
独立行政法人国際観光振興機構 (JNTO)
アルザス・欧州日本学研究所 (CEEJA)

(順不同)



木下グループは

いつもあなたのそばにいる

「総合生活企業」です

私たちは、すべての人たちが物心両面の豊かさを実感できること、これが何よりも大切だと考えます。

「豊かな生活と文化の調和」… 物質的な豊かさと共に人々の心から生み出された
伝統文化を護り、同時に新しい文化の創造が調和された環境をご提供すること。

そして、この社会や環境を次の世代へと譲り、伝えていくことこそ、私たちの使命と考えます。

木下グループ

木下工務店 木下不動産 木下の賃貸 木下のリフォーム キノシタコミュニティ
木下損害サービス 木下海毒クリニック 木下の介護 木下の保育 木下福祉アカデミー
興生会 和光会 松風会 新型コロナ検査センター 北京木下医療科技

Copyrights kino films kino music kino ハイエロ dongyu Sixsix HERU Moba Moga

MEISTER Abqello 木下スケートアカデミー 木下卓球アカデミー



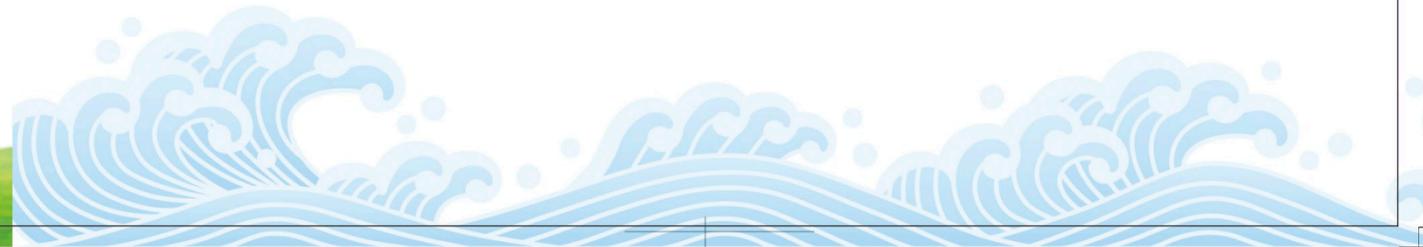
kinoshita-group.co.jp

第31回 北前船



寄港地フォーラム in パリ

2022.10.17 Mon. ▶ 10.20 Thu.



第31回北前船寄港地フォーラム in パリ 開催のご挨拶



一般社団法人北前船交流拡大機構 最高顧問 **大橋 洋治**

「第31回北前船寄港地フォーラム」は海を越えて、ここパリで開催いたします。開催にあたり連携いただいた外務省、在仏大使館、観光庁、JETRO、JNTO、CEEJAの皆様へ厚く御礼申し上げます。2007年にスタートした往年の北前船の寄港地を結ぶ交流の輪が、日本を飛び出し、ここパリにまで広がりました。今後もさらに北前船がつなぐ絆が世界中に拡大し、大きな相互交流の促進につながりますことを祈念しています。



観光庁長官 **和田 浩一**

今年で16年目を迎える北前船寄港地フォーラムは、今回は欧州において初めての開催となります。この「北前船寄港地フォーラム in パリ」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。我が国はフランスを訪日旅客の重点市場と位置づけております。フランス・パリの皆様方との交流により、益々の観光振興につながることを期待しております。今回のフォーラムのご成功と皆様のご健勝を心から祈念しております。

一般社団法人北前船交流拡大機構 名誉会長 **新田 嘉一**

世界の人々が憧れる、花の都パリは高い精神性と芸術に溢れたまちです。若き日に、幾度も訪れたルーブル美術館で本フォーラムが開催できることは夢のようです。酒田市美術館では、ベルナール・ビュフェ、ベルナール・カトラン、モーリス・ユトリロら近・現代のフランス画壇を代表する作家の展示を行い沢山の市民に大きな感動を与えています。文化・芸術は国境を越える力があります。平和な未来のため貴国との更なる交流を願っています。



独立行政法人国際観光振興機構 (JNTO) 理事長 **清野 智**

第31回北前船寄港地フォーラム in パリの開催を、心からお祝い申し上げます。本フォーラムが、ここ数年の新型コロナウイルス感染症による影響を乗り越え、フランスの地で開催されることは大変意義深く、同時開催のJNTO地方誘客セミナーと相まって、日仏間の観光交流の復活の一助となることを期待しております。ご尽力をいただきました関係者の皆様に深く敬意を表し、ご参加の皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたします。



一般社団法人北前船交流拡大機構 評議員議長 **石川 好**

北前船がついにフランスはパリにまで帆を揚げ、日本文化の華ともいべき「日本料理」を届けることになった。思い起こせば山形県の酒田市で、第一回北前船寄港地フォーラムを恐る恐る開催したのだが、いまやこのフォーラム、海と大陸を超えてフランスにまで足を伸ばすことになった。協力して下さった地方自治体の皆様には感謝の言葉しか思い浮かばない。このパリ開催は到達点ではなく、新しい始まりであると考えたい。これから先も多くのことを学びたいものである。



秋田県知事 **佐竹 敬久**

フランスでは、日本の食文化を支える発酵食品が注目を浴びていると伺っています。秋田県では、古くから日本酒やいぶりがっこなどの発酵食品が作られてきており、ワインやチーズが食文化の中心を成してきたフランスと相通するものがあると思います。今回のパリ大会を通じて、フランスとの交流がこれまで以上に活発になることを期待しております。

一般社団法人北前船交流拡大機構 会長 **岩村 敬**

北前船は17世紀から19世紀にかけて、物資、人そして文化を日本各地に運びました。食文化を代表する昆布(出汁)は、北前船によって、蝦夷(北海道)から薩摩(九州)、さらには3千km離れた琉球(沖縄)にまで広まりました。そして、日本食のベースである昆布出汁(うま味)は、フランス料理に大きな影響を与えています。今回のフォーラムは、その間の事情がテーマです。



鹿児島県知事 **塩田 康一**

江戸期から明治期にかけて北海道と大阪の間で大量の物資を運んだ「北前船」は薩摩藩にとりましても縁があり、北前船で運ばれた物資による交易を通じて明治維新の原動力を得たとされています。本フォーラム等を通じて、本県としても郷土や鹿児島黒牛、ブリ、お茶、本格焼酎、黒酢などの豊富な食材や2つの世界自然遺産をはじめとする本県の豊かな自然、個性的な文化・歴史といった観光資源を積極的にPRしてまいります。



一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長 **浜田 健一郎**

ここフランス・パリにおいて、北前船の誇る歴史的・文化的意義を世界に発信し、地域活性化や国内外からの誘客拡大に繋げていきたいと考えています。振り返れば2年前の10月、今は亡き岡田裕介元東映会長からアップフロントグループの山崎会長、木下グループの木下社長を紹介いただいたことが今回のフォーラム開催に繋がりました。お二人をはじめ、本フォーラム開催に関わっていただいた皆様に心より感謝申し上げます。



北前船日本遺産推進協議会 会長 / 加賀市長 **宮元 陸**

第31回北前船寄港地フォーラム in パリの開催を、心よりお慶び申し上げます。このフォーラムは、北前船航路上の都市間の交流を生み出し、これまで地域の活性化に大いに寄与してきました。今回、アジアの枠を超えたフランスでの開催により、北前船コリドール構想を発展させ、日本のインバウンドに繋げてまいりたいと考えております。このフォーラムの開催を機に、関係する都市の友好と交流がさらに深まりますことを祈念いたします。

株式会社木下グループ 代表取締役社長 兼 グループCEO **木下 直哉**

北前船寄港地フォーラムがパリにて初開催されますこと誠にお慶び申し上げます。文化の発展には環境を整えること、そして継続的な支援が必要であると考え、当グループはルーヴル美術館をはじめ国内外の文化活動を長きに渡り支援してまいりました。日本各地に交流をもたらした北前船の「精神」文化は世界遺産として通用すると確信しています。北前船の精神を通して日本文化を世界へ発信するサポートができることを光栄に思います。



一般社団法人地域連携研究所自治体会員制度 会長 / 大館市長 **福原 淳嗣**

日本の食と文化を広く世界へ発信するため「第31回北前船寄港地フォーラム」がパリで開催されることとなりました。開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。兄弟組織の「地域連携研究所」は広く地域の連携を果たし地域の活力を生み出すため活動していることから、このフォーラムでの意義と成果を日本の地方の振興につなげてまいります。



10月17日

-月-

10月18日

-火-

第31回北前船 寄港地フォーラム in パリ 公式行事

第31回北前船寄港地フォーラム in パリ 開会式

● 場所：Bateaux-Mouches / バトームーシュ

セーヌ川クルーズの代名詞的存在のバトームーシュでクルーズ船を貸し切り、開会式を開催。船上レストランでセーヌ川のランチクルーズを楽しみながら、パリ観光で外せないエッフェル塔、ルーヴル美術館、パリ・ノートルダム寺院、コンシェルジュリー、オルセー美術館…パリの財産でもある数々の歴史的建造物をお楽しみいただけます。



パリ市庁舎 表敬訪問

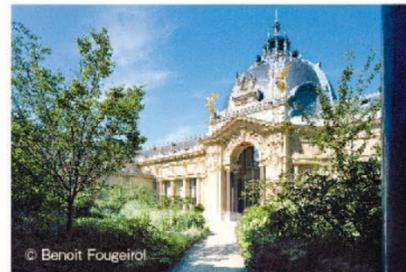
● 場所：Hotel de Ville de Paris / パリ市庁舎

日本の自治体パリ市を表敬訪問。14世紀から今と同じ場所（パリ4区）にあり、600年以上の歴史を持つパリ市庁舎はネオ・ルネサンス様式の壮麗な建物であり、パリ市民や観光客にとっても親しみのある場所です。

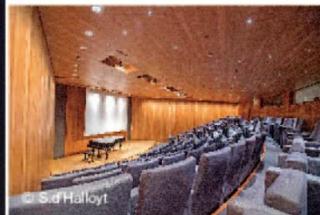
JNTO主催「地方誘客セミナー」

● 場所：Petit Palais / プティ・パレ

海外からの観光客受け入れ制限が緩和に向かう中、日本政府観光局（JNTO）によるフランス市場に対する訪日プロモーションを実施。



第1部：地方誘客セミナー（The Auditorium（講堂））



現地の旅行業界関係者およびメディア向けに、北前船関係市町の観光資源や宿泊施設、アクティビティなどの観光コンテンツをご紹介します。動画や写真を使いながらフランス語でプレゼンします。

第2部：意見交換会（中庭）

南国の木々が美しい中庭と列柱のある回廊に自治体ごとにブースを設け、カジュアルスタイルでの商談・意見交換会を実施します。



一般社団法人地域連携研究所 企業会員制度発起人会 発足式

● 場所：Musée du Louvre / ルーヴル美術館 オーディトリウム（講堂）

2021年1月に設立された一般社団法人地域連携研究所は、2022年3月には36の自治体が発起人となり自治体会員制度を発足させて活動しています。現在は自治体会員を中心に自助努力で活動に勤しむ地域連携研究所を民間企業としても地域連携して支えていくことで地域の発展を加速させていきたいと考えており、ここフランスの地で企業会員制度の発起人会を発足させ、企業会員制度の導入を目指してまいります。

第31回北前船寄港地フォーラム in パリ

● 場所：Musée du Louvre / ルーヴル美術館 オーディトリウム（講堂）



「日本の食文化を世界に発信」をテーマに、「奥井海生堂社長奥井隆氏」の記念スピーチや今後の新たなインバウンドの展開に関するスピーチ、全国自治体の皆様による「観光・文化」についての取り組みを発表していただきます。

© Pyramide du Louvre - Architecte I.M. Pei

© 2016 Musée du Louvre / Antoine Mongodin

秋田竿燈まつり 主催：秋田市

● 場所：チュイルリー公園

フォーラム終了後、パリ市内最古の公園チュイルリー公園にて「秋田竿燈まつり」をお楽しみください。

【秋田竿燈まつりとは】

東北を代表する三大まつりの一つで、270年もの歴史を持つ国重要無形民俗文化財です。竿燈の起源は江戸時代中期とされ、「ねぶり流し」に由来し、五穀豊穡・繁栄を祈る行事として守り伝えられてきました。重さ50kgにもなる竿燈を自在に操る差し手の技は、日々の練習とバランス感覚が必要とされ、竿燈280本が、お囃子や「ドッコイショー」の掛け声とともに、稲穂のように揺らめき秋田の夏の夜空を照らします。



ルーヴル美術館プライベートツアー

世界最大の美術館を貸し切り、フォーラム参加者のみで、世界の名画を鑑賞いただけます。世界三大美術館の一つでもあるルーヴルは、中世の要塞、宮殿、美術館と、時代とともにその役割を変えてきました。30万点以上といわれる膨大なコレクションの中からフランスが誇る至宝の数々をご覧ください。

10月19日

-水-



高速鉄道 (TGV) にてパリを離れ、ストラスブールへ。
ストラスブールはフランス北東部に位置するグラン・テスト地域圏の首府です。
ドイツ国境の近くに位置するこの街には、ドイツとフランス両国の影響を受けた
文化と建築が存在します。

CEEJA 主催 歓迎レセプション

● 場所：ジョセフィーヌの館

ストラスブール最大の公園、オランジュリー公園内にあるジョセフィーヌの館
にてランチを兼ねた歓迎レセプションを開催します。



日仏自治体首長交流会・会議 主催：CEEJA

● 場所：ジョセフィーヌの館

日本の自治体首長とアルザス欧州自治体の首長とで、地域間連携について意見交換を実施します。「日本-アルザス地域間連携」成功例の紹介
や「少子化」に関する課題認識の共有、「地方・創生」に関する事例発表を通して、今後の連携についてディスカッションを行います。また、
一般社団法人北前船交流拡大機構とアルザス欧州日本学研究所の友好協力覚書締結署名式も実施します。

ストラスブール市内視察

「街道の町」を意味するストラスブールは、その名の通り古くから交通
の要所として栄えてきました。視察ではストラスブールの観光名所を巡
ることができるパトラマ (イル川遊覧船) での市内運河クルーズに乗船。
下船後は、11世紀に創建されたといわれるストラスブール大聖堂 (カテ
ドラル) をはじめとする旧市街を視察いただきます。



ストラスブール市主催 歓迎レセプション

● 場所：ストラスブール市庁舎

全員でストラスブール市庁舎に向かい、ストラスブール市主催の歓迎
レセプションに参加。ストラスブール市長にも出席いただきます。



北前船交流拡大機構 大夕食会

● 場所：Hilton Strasbourg / ヒルトンホテル

欧州議会の近くに位置するヒルトンホテルバンケット
ルームにて大夕食会をお楽しみください。

10月20日

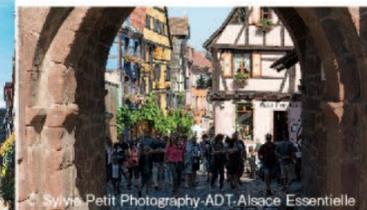
-木-

バスでストラスブールを出発し、アルザス・ワイン街道視察へ。

ワイナリー見学

多様な地形と風土のテロワールを有するアルザスでは、恵まれた
環境と土壌を活かして個性的なワイン造りが行われています。

アルザスを代表する伝統ワイナリー
の見学と試飲をお楽しみください。
試飲の後はワインを購入いただくこ
とも可能です。



リクヴィール訪問

16世紀アルザスで最初に要塞化し、文化が発達しワイン
で栄え、その名を知られることになったリクヴィールは
「フランスの最も美しい村」のひとつとして有名です。アル
ザス様式の建築が完全に保存された村を観光します。

コルマル訪問

コロムバージュ (木組み) の建物、花で飾られた家々、運河や橋などアルザスの魅力が凝縮された街
といわれるコルマル。旧市街の街並みを楽しみながらアルザス料理などのランチタイムをお過
ごください。



アルザス・欧州日本学研究所 (CEEJA)



アルザス・欧州日本学研究所 (CEEJA) 日本代表部 代表 後藤 淳子

北前船寄港地フォーラム in パリ大会の開催を心よりお慶び申し上げます。北前船が活発に
交易を広げ栄えていた江戸時代に日本とアルザスの交流が始まりました。以来160年間、
経済、文化、芸術、人的交流が盛んに行われ、日本との絆を深めて参りました。「欧州の中心」で
あるアルザスの地で日仏自治体の交流を通して海を越えての地域間連携が広がることを期待
します。皆様のアルザスへのお越しを心からお待ちしております。

アルザス・欧州日本学研究所 (CEEJA) シニアアドバイザー
一般社団法人 ONS EN・ガストロノミー・ツーリズム推進機構 理事長
学校法人滋慶学園グループ 東京ホテル観光&ホスピタリティ専門学校 学校長

小川 正人

「北前船寄港地フォーラム」のパリ開催とアルザスとの自治体間相互交流の企画は、大変意義深く、
感謝に堪えません。私は、前職のANA時代からのご縁で、アルザス発祥のガストロノミー・ウォー
キングを日本各地の温泉地で開催しております。アルザス地方は、素晴らしい景観とワインや食が
あるだけでなく、地域一体となって観光や産業の発展に努力しています。今回のご訪問で、アルザス
を色々な面から、より深く感じて頂ければ幸いです。



第31回北前船寄港地フォーラム in パリ 開会式

日時：2022年10月17日(月) 10:45～13:15
会場：パトームーシュ (セーヌ川船上)

1. オープニング挨拶
一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長 浜田 健一郎
2. 歓迎挨拶
駐フランス日本国特命全権大使 伊原 純一
3. 祝辞
秋田県知事 佐竹 敬久 様
独立行政法人国際観光振興機構 (JNTO) 理事長 清野 智之 様
前衆議院議員 富田 茂之 様
福井県副知事 中村 保博 様
株式会社新潟日報社 代表取締役社長 佐藤 明 様
4. アトラクション
酒田舞娘
5. 北前船交流拡大機構 役員挨拶
日本航空株式会社 執行役員地域事業本部長 本田 俊介 様
株式会社 ANA 総合研究所 取締役会長 伊東 裕 様
6. 閉会挨拶

一般社団法人地域連携研究所 企業会員制度発起人会 発足式 次第

日時：2022年10月18日(火) 9:00～9:50
会場：ルーヴル美術館 オーディトリウム (講堂)

1. 開会挨拶
理事長 浜田 健一郎
2. スピーチ～企業会員制度発足へ前進～
会長 / 大館市長 福原 淳嗣
3. 企業会員制度発起人紹介
副会長 / 酒田市長 丸山 至
副会長 / 敦賀市長 淵上 隆信
4. 祝辞
インフロンティア・ホールディングス株式会社 取締役代表執行社長兼CEO 岐部 一誠 様
新潟県知事 花角 英世 様
※メッセージ代読 新潟県観光文化スポーツ部 副部長 新井 恵 様
5. 代表発起人挨拶
株式会社ジェイアール東日本企画 代表取締役社長 赤石 良治 様
日本航空株式会社 代表取締役副社長 清水 新一郎 様
西日本旅客鉄道株式会社 理事鉄道本部営業本部長 福島 純 様
株式会社 ANA 総合研究所 取締役副社長 中村 晃 様
6. 記念スピーチ
株式会社インデックスコンサルティング 代表取締役社長 植村 公一 様
「自治体 企業を結び新しい街づくりを世界に」
7. 閉会挨拶 (総括)
特別顧問 田端 浩

記念スピーチ



株式会社インデックスコンサルティング 代表取締役社長 植村 公一

【学歴】
1981年 3月 名城大学理工学部 建築学科卒
1983年 9月 カリフォルニア芸術大学 建築学部卒

【職歴】
1994年 1月 (株)インターナショナルデザインイクスチェンジ設立
2001年12月 社名を(株)インデックスコンサルティングへ変更、代表取締役社長就任
2004年 9月 (株)インデックスファシリティアーズ設立、代表取締役社長就任
2021年 4月 (株)インデックスストラテジー設立、代表取締役社長就任
現在に至る

第31回北前船寄港地フォーラム in パリ 次第

テーマ：「日本の食文化を世界に」

日時：2022年10月18日(火) 10:15～12:00
会場：ルーヴル美術館 オーディトリウム (講堂)

第一部

1. 開会挨拶
一般社団法人北前船交流拡大機構 理事長 浜田 健一郎
北前船日本遺産推進協議会 / 秋田市長 穂積 志
一般社団法人北前船交流拡大機構 名誉会長 新田 嘉一
※メッセージ代読 株式会社平田牧場 取締役 田畑 道子 様
2. 祝辞
秋田県知事 佐竹 敬久 様
鹿児島県知事 塩田 康一 様
株式会社木下グループ 代表取締役社長兼グループCEO 木下 直哉 様
3. 記念オブジェのご紹介
株式会社SGC 代表取締役会長 土屋 豊 様

第二部

4. 京都料理人 / 日本料理アカデミー参加者ご紹介並びにご挨拶
NPO 法人日本料理アカデミー 理事長 / 料亭菊乃井 主人 村田 吉弘 様
5. 記念スピーチ
株式会社奥井海生堂 代表取締役社長 奥井 隆 様
テーマ「日本の食文化を世界に発信」

第三部

6. スピーチ～新たなインバウンドの展開～
国土交通省 観光庁 国際観光部長 星野 光明 様
全日本空輸株式会社 代表取締役社長 井上 慎一 様
日本航空株式会社 代表取締役副社長 清水 新一郎 様
7. 自治体発表～全国自治体より「観光・文化」の発信～
◆第1グループ
①秋田市 ②男鹿市 ③酒田市 ④鶴岡市 ⑤新潟市 ⑥長岡市
◆第2グループ
①加賀市 ②輪島市 ③志賀町 ④敦賀市 ⑤備前市
◆第3グループ
①大館市 ②茅野市 ③鹿児島市 ④枕崎フランス祭り
8. 総括
東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員 高橋 弘行 様
西日本旅客鉄道株式会社 理事営業本部長 福島 純 様
9. 次期開催予定地紹介
(1) 沖縄 (2023年2月3日) 沖縄県知事 玉城 デニー 様
※ビデオメッセージ
(2) 岡山 (2023年9月) 岡山商工会議所 会頭 松田 久 様
(3) 釧路 (2024年夏) サンエス電気通信株式会社 代表取締役 宮田 昌利 様

記念スピーチ



NPO 法人日本料理アカデミー 理事長 /
料亭菊乃井 主人

村田 吉弘

今回、北前船交流拡大機構がコーディネートしJETROが主催する「日本産食材等の販路開拓支援事業」への協力の一環で、日本の代表として京都の和食料理人13名で渡仏いたします。フランスにおいて大きな影響力をもつ方々に、我々13人が腕を振った京料理を提供いたします。また、フランス人シェフとともに、日本食・日本食材の素晴らしさについての意見交換を図り、日本の食文化の神髄を世界に発信することに繋げたいと考えております。



株式会社奥井海生堂
奥井 隆

フランス、パリで開催されます北前船フォーラムで、お料理では脇役の昆布が主役に抜擢されました。昆布の千年にわたる歴史では、金と同格に扱われる高価な昆布が始まりです。神社での御神饌。お正月料理に多用される昆布。結納飾りに昆布が。「ハレの日には昆布」とまで言われた貴重な昆布が、北前船交易で大量に運ばれるようになって、日本料理の「かなめ」に躍り出ました。そんなお話をパリで出来たらフランスの方も喜んでいただけるのでは。夢が膨らみます。

(参考)

JETRO 主催

「現地小売・飲食店や流通事業者等と連携した日本産食材等の販路開拓支援事業」

- 1 現地レストランを会場に、株式会社菊乃井・村田社長はじめ13名の料理人による日本産食材を活用した試食会を開催。フランスの料理界に影響のあるシェフや日本産食材を取り扱う
- 2 現地料理学校における日本産食材に関するセミナー・調理デモを開催。出汁や発酵食品をテーマにフランス人シェフ等向けに講演を行い、そのほか日本人シェフによる調理デモンストレーションや、日仏シェフの意見交換会を通して日本産食材の良さを発信します。
- 3 欧州最大の食品見本市である SIAL Paris 2022 において日本産食材プロモーションを実施。欧州市場への新規参入・販路拡大を目指す企業が扱う日本産食材を中心に展示し、来場するフランスの食品関係者に対して発信します。

京都の名料亭のご紹介

いっしとうてん
一子相伝なむら

六代目主人 / 博士
中村 元計



創業以来、百八十年。受け継がれた京料理。中でも白味噌雑煮は特に有名です。白味噌を水で溶いただけの雑煮。お椀の中には焼いた丸餅と忍び辛子。また、甘鯛(ぐじ)の酒焼。召し上がった後に、お湯を入れて汁として頂くその味。鯛の香りが口の中いっぱいに広がります。なむらの料理。それを一言でいい「ウマイ」と言わせたい。そんな心で料理を作ります。

うきよろう
魚三樓

九代目主人
荒木 稔雄



一七六四年、初代が京都伏見に店を構え250余年。京都の川陸交通の要衝・伏見港に揚がる瀬戸内の魚や京野菜、また伏見の酒造りを支えた豊かな湧水を使い、各藩の大名屋敷の料理方などに出入りし始めました。豊かな伏見の銘水「伏水」を使った京料理のお店として歴史を重ねてきました。幕末の鳥羽伏見の戦い当時は官軍の台所番を務めていたほどで、「魚三樓」は伏見の京料理のお店として、季節を大切にお客様への真心を伝えております。

きくのい
菊乃井

三代目主人
村田 吉弘



季節に生かされてこそその京料理を、千古の昔からゆったりと見おろしている東山。「菊乃井」はその山懐にあり、高台寺の縁に囲まれ静かにたたずんでいます。高台寺は豊臣秀吉とその正室北政所の菩提寺。北政所ねねが茶会を催した茶室があり、桃山時代の面影を今に残しています。四季の情感豊かな料亭の永い歴史をもつ部屋で、いにしへの桃山びとを偲びながらいただく懐石料理は、京料理の味の神髄といえます。

きのよ
木乃婦

三代目主人 / 博士
高橋 拓児



京都で歴史を紡ぎ、洗練を重ねた日本料理。一つの献立にはいくつもの時代が息づき時代の記憶を食し、季節を想う。たゆまぬ探求で生み出す新しい日本料理の斬新さに目を見張り、雅びやかさにときめく。料理の一皿一皿に旬を惜しみなく用い繊細な味わいに仕立てる伝統と驚きがあり、季節やお客様に応じて巧みに料理構成を変え、全ての客人を魅了します。

じきしんぼう
直心房さいき

三代目主人 / 博士
才木 充



京野菜は種類ごとに、地域の違う契約農家から、朝採れをその日使う分だけ仕入れ、その日の主役に抜擢します。そして、京野菜の味をさらに引き立てるのがダシ。産地にこだわった昆布や鰹節から、手間と時間を惜みず、じっくりとダシをとっていきます。素材選びから調理法まで、一つとして手を抜かない。それが「京料理 直心房 さいき」の流儀なのです。

たんくま きたてん
たん熊北店

三代目主人
栗栖 正博



昭和3年に創業した京料理「たん熊」は、戦後も両千家をはじめとして、谷崎潤一郎、吉井勇先生等の文人等のお引き立てを得て今も順調なあゆみをつけています。京料理界の中でも、一、二をあらそう老舗であると自負しております。料理は四季の風趣を凝らし、真心の伝統を受け継いだのが「たん熊北店」の京料理なのです。

ひょうてい
瓢亭

十五代目主人
高橋 義弘



季節料理、夏の「朝がゆ」、冬の「鶺鴒がゆ」は、名物「瓢亭玉子」ともども広く親しまれています。瓢亭は、四百年ほど前(元禄中期)南禅寺へお詣りする人びとの休息所(茶店)として庵を結んだのが始まりです。天保八年(一八三七年)料亭ののれんをかかげて、高級懐石料理の名声を得、近世の文人・頼山陽や明治の元勳・山県有朋から深く愛されました。

まんかめろう
萬亀楼

十一代目若主人
小西 雄大



御所で食された「有職料理」を提供する享保7年創業の歴史ある老舗料亭。御所ゆかりの生間流式庭丁・有職料理の伝統と雅な京文化を今に伝えながら、静かな町並みが続く京都・西陣の一角に佇む、主人・小西将清氏は、平安時代から御所に伝わる食の儀式「式庭丁」を正式に継承する、生間流三十代家元。料理を通して、宮中の雅な文化に触れることができます。

みやまじょう
美山荘

四代目主人
中東 久人



美山荘は、摘草料理という新しい考えのもと、主人が野にいきり、山にいきり、季節の山菜、魚、草を摘んで、美しく調理します。美山荘は、かつては峰定寺の宿坊だったところ。京の花背という浮世をはなれ、花鳥風月をだいにした処にあります。時をわすれて、しずかに過ごす。なんだか昔なつかしい気分になる京都の奥座敷の料亭です。